

生命医科学部 医情報学科

ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー

■ディプロマポリシー

学力の三要素/領域：下記の資質・能力を備えた学生に学士（工学）の学位を授与します

【知識・技能】

- ・ 生体情報の取得・制御と、生体情報処理機構の情報システム構築への展開に関する知識を理解できる。
- ・ ヒトを主体とする情報利用に関する技術を身につけて応用することができる。

【思考力・判断力・表現力】

- ・ 人が豊かに暮らせる社会の実現のために解決すべき課題に対して、情報理工学と生命医科学を融合した知識と技術による解決方法を見出し、その課題や解決方法を伝えることができる。

【主体性・多様性・協働性】

- ・ 社会に貢献するため、医学・工学分野の情報利用に対する課題を見つけ、その解決に向けて自発的に行動できる。

■カリキュラムポリシー

1) カリキュラム総説

ディプロマポリシーでの資質・能力を備えるために、下記のカリキュラムを設けます

【編成・運営方針】

- ・ 生体情報の取得・制御と、生体情報処理機構の情報システム構築への展開に関する諸問題の解決に貢献できる人物を育成するために、必修科目および選択科目 A～C 群によって構成されるカリキュラムを設置する。
- ・ 必修科目は、講義ならびに実験・演習科目 50 単位と 4 年次に卒業論文 4 単位を履修する。選択科目 A 群は、Ⅰ類とⅡ類を設置し、Ⅰ類には 1a と 1b、および 2、Ⅱ類には 1 と 2 を設置する。
- ・ 選択科目 B 群は、Ⅰ類、Ⅱ類とⅢ類を設置する。
- ・ 選択科目 C 群は、教職に必要な免許関連科目等を設置する。

2) 学力の三要素/領域

【知識・技能】

- ・ 必修科目の講義科目では、生体情報の取得・制御と、生体情報処理機構の情報システム構築への展開に関する基礎的知識を習得する。
- ・ 必修科目の実験・演習科目では、生体情報の取得・制御と、生体情報処理機構の情報システム構築への展開に関する基礎的知識や技能を習得する。
- ・ 選択科目 A 群は、生体情報の取得・制御と、生体情報処理機構の情報システム構築への展開に関する専門的知識や技能を習得する。なお、Ⅰ-1a と 1b は基幹科目であり、選択必修である。また、Ⅰ-2 は自学科設置科目、Ⅱ-1 は主に他学科主設置科目、Ⅱ-2 は他学部主設置科目となっており、学生が求められた単位数に従い自主的に選択する。

- ・選択科目 B 群では、Ⅰ類で英語の実践的な運用能力を習得し（8 単位以上）、Ⅱ類でフランス語もしくはドイツ語の基礎的運用能力を習得する（4 単位以上）。また、Ⅲ類では、幅広いリベラルアーツや建学の精神などを習得する（8 単位以上）。

【思考力・判断力・表現力】

- ・必修科目の実験科目では、実験の遂行後にレポートの作成・提出が、かつ発表会での発表が求められる。
- ・必修科目の卒業論文では、与えられたテーマに対し、報告会での経過発表を行うとともに、卒業論文の提出と卒論発表会での発表が要求される。

【主体性・多様性・協働性】

- ・必修科目の実験・演習科目ではグループワークを行い、与えられたテーマを遂行する。また、発表会ではグループによる発表が求められる。
- ・必修科目の卒業論文では、研究室に属して、与えられた問題を自発的に行動して解決方法を見出す。